



2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月14日

上場会社名 株式会社ピザスク

上場取引所 東

コード番号 4490 URL <https://visasq.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 端羽 英子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 安岡 徹

TEL 050-3733-8513

四半期報告書提出予定日 2021年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	1,126	61.5	131	114.9	123	114.5	127	132.7
2020年2月期第3四半期	697	53.3	61	27.8	57	20.9	54	16.0

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 128百万円 (134.0%) 2020年2月期第3四半期 54百万円 (16.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	14.90	13.81
2020年2月期第3四半期	7.16	

(注) 1. 当社は、第8期第3四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、第8期連結会計年度に代えて、第8期事業年度について記載しております。

(注) 2. 2019年8月9日開催の取締役会決議により、2019年8月30日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(注) 3. 第8期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(注) 4. 当社は、2020年3月10日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、第9期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から第9期第3四半期連結累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	1,693	943	55.7
2020年2月期	648	99	15.3

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 942百万円 2020年2月期 99百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		0.00	0.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,520	54.5	90	25.9	79	38.0	95	79.7	11.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想については、本日(2021年1月14日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) VISASQ SINGAPORE PTE. LTD. 、 除外 社 (社名)

第1四半期連結会計期間に、VISASQ SINGAPORE PTE.LTD.を新規設立したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年2月期3Q	8,759,050 株	2020年2月期	7,685,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年2月期3Q	20 株	2020年2月期	株
------------	------	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2021年2月期3Q	8,589,637 株	2020年2月期3Q	7,685,000 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)1. 2019年8月9日開催の取締役会決議により、2019年8月30日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(連結の範囲又は持分法適用範囲の変更に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、2020年3月ごろから本四半期報告書の提出時点にわたって新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が拡大し、様々な産業にその影響が生じておりました。その間、政府主導の各種政策により段階的に経済活動レベルが引き上げられましたが、依然として幅広い産業において以前より厳しい経済環境が継続しております。また、2020年1月7日には緊急事態宣言が再発令されました。

一方、当社グループが属する情報・サービス系の産業においては、業況の著しい悪化には至っておりませんが、経済活動全般の縮小に伴い一部の取引需要が減退する状況となりました。BtoB情報プラットフォーム市場の売上高規模は、2020年1月～10月の合計で2,485億円(前年同期比0.5%減)となっております(経済産業省「特定サービス産業動態統計調査(2020年12月公表)」の「データベース」及び「各種調査」を合計)。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における知見プラットフォーム事業は、一部で新型コロナウイルス感染症による影響を受けたものの、法人クライアント口座数の増加により堅調な成長を維持しました。特に、フルサポート形式のスポットコンサル設営サービス「ビザスクinterview」においては、積極的なマーケティング施策により国内事業法人および海外顧客の拡大が寄与しました。また、国内のコンサルティング・ファームとの取引関係は良好であり、当社への依頼は前年同期間に比べて増加しております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末時点で国内登録者数(注)は12万人を超え、また、当第3四半期連結累計期間における当社のアレンジしたフルサポート形式のスポットコンサルによる知見提供取引の件数(「ビザスクinterview」のみ)は約13千件となり、取扱高は知見プラットフォーム事業全体で1,782百万円(前年同期比59%増加)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における営業収益は1,126,783千円、営業利益131,578千円、経常利益123,378千円、親会社株主に帰属する四半期純利益127,947千円となりました。

なお、当社グループは知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注)「国内登録者数」は、当社日本語webサイトにて登録をした人数の合計であります。国内登録者は、知見を提供する個人(アドバイザー)と、これを求める個人(「ビザスクlite」における依頼者。また、「ビザスクlite」を活用するための契約を締結した法人に所属し、当該契約に基づき登録された個人を含む。)に分かれております。いずれの登録者もアドバイザーとしてフルサポート形式「ビザスク」及びセルフマッチング形式「ビザスクlite」で活動することができ、また、依頼者として「ビザスクlite」を利用することができます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,693,238千円となり、前事業年度末より1,045,021千円増加しました。これは主に、2020年3月に当社株式を上場した際に行った公募増資及び事業規模の拡大により現金及び預金等が増加したことにより流動資産合計が971,640千円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は750,132千円となり、前事業年度末より201,588千円増加しました。これは主に、事業規模の拡大により法人クライアントから収受する前受金が増加したこと等により流動負債合計が201,588千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は943,106千円となり、前事業年度末より843,433千円増加しました。これは当第3四半期連結累計期間に親会社株主に帰属する四半期純利益127,947千円を計上したことのほか、2020年3月に当社株式を上場した際に行った公募増資によるもの等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年7月14日に、第2四半期累計期間の連結業績等を公表するとともに、2021年2月期(2020年3月1日から2021年2月28日まで)の連結業績予想を公表いたしました。

その後、新型コロナウイルス感染症に対する社会的な対応が進み、経済活動は徐々に引き上げられてまいりました。

当社における業況感としては、法人クライアント向けのサービスが拡大しており、法人クライアント口座数は前回公表した業績予想通りに積み上がり、また、法人クライアントの利用ニーズにフィットした営業展開を進めたことで1口座当たりの取扱高は堅調に上方推移しております。これらの要因により、ビザスクinterviewの取扱高の予想を引き上げております。

その他のサービス(ビザスクexpert survey、ビザスクproject、ビザスクlite等)につきましても順調に成長を続けているため、足元におけるこれらのサービスの状況も今回公表する業績予想に織り込んでおります。

一方、当社のサービスの利用ニーズは、顕在・潜在いずれにつきましてもいまだに広く存在していると認識しております。

そうした顕在・潜在両方の利用ニーズにアプローチするため、今期は積極的に広告宣伝活動を展開してまいりました。今回の業績予想の修正にあたり、足元における広告の投資対効果が想定より高いため、広告宣伝費を追加計上しております。

また、事業成長に向けた積極的な投資として採用活動もより一層強化し、採用費を追加で計上しております。なお、営業利益の連結業績予想値が前回の公表値より大きく上回る見込みとなったため、増益の一部を役職員へ配分することとしております。

このほか、好調な業績を踏まえ、繰延税金資産の追加計上を行います。

以上を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、取扱高は2,450百万円、営業収益は1,520百万円、営業利益は90百万円、経常利益は79百万円、純利益は95百万円と予想しております。

(個別)

業況については、上記と同等となります。営業収益は1,520百万円、営業利益89百万円、経常利益は76百万円、純利益は93百万円と予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,228,056
売掛金	265,149
その他	38,194
流動資産合計	1,531,400
固定資産	
有形固定資産	27,501
投資その他の資産	134,335
固定資産合計	161,837
資産合計	1,693,238
負債の部	
流動負債	
買掛金	86,021
未払金	56,298
未払法人税等	25,326
前受金	249,904
賞与引当金	50,000
その他	92,580
流動負債合計	560,132
固定負債	
長期借入金	190,000
固定負債合計	190,000
負債合計	750,132
純資産の部	
株主資本	
資本金	385,842
資本剰余金	347,630
利益剰余金	208,309
自己株式	△27
株主資本合計	941,754
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	722
その他の包括利益累計額合計	722
新株予約権	629
純資産合計	943,106
負債純資産合計	1,693,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
営業収益	1,126,783
営業費用	
役員報酬	37,258
給料及び手当	445,772
賞与引当金繰入額	50,000
その他	462,174
営業費用合計	995,205
営業利益	131,578
営業外収益	
受取利息	11
補助金収入	1,687
営業外収益合計	1,698
営業外費用	
支払利息	6,405
為替差損	1,432
上場関連費用	1,983
雑損失	77
営業外費用合計	9,897
経常利益	123,378
税金等調整前四半期純利益	123,378
法人税、住民税及び事業税	25,329
法人税等調整額	△29,898
法人税等合計	△4,569
四半期純利益	127,947
親会社株主に帰属する四半期純利益	127,947

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	127,947
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	722
その他の包括利益合計	722
四半期包括利益	128,670
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	128,670
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用範囲の変更に関する注記)

第1四半期連結会計期間に、VISASQ SINGAPORE PTE. LTD. を新規設立したため、同社を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月10日をもって東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場に当たり、2020年3月9日を払込期日とする公募(ブックビルディング方式による募集)による新規株式の発行500,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ346,875千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間における新株予約権の行使による新株の発行を含めて、当第2四半期連結会計期間末において資本金が370,828千円、資本剰余金が347,630千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

当社グループは、知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。